

お年寄り 動画で四季の旅

箕面の会社 ネット公開や施設上映

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、高齢者に四季の旅行体験を味わってもらおうと、箕面市の企業が、桜や紅葉の名所映像をネットで公開している。施設では弁当付きの上映会も催され、「お年寄りの表情が明るくなった」と評判だ。同社は「コロナの終息を待ってられない人のためにも作り続ける」と寄付資金を集めて次回作を企画している。

(大森篤志)

会社は、介護機器の開発、販売を手がける「ハンディネットワークインターナショナル」(箕面市)。高齢者施設向けに日帰り団体旅行を企画しているが、今春から予約キャンセルが相次ぎ、お年寄りの落胆ぶりを知って動画撮影を始めた。

★

11月20日、住宅型有料老人ホーム「プレジール豊中」

(豊中市)の食堂の壁に、八ヶ岳(山梨県)に広がる紅葉やのどかな古民家の風景が映し出された。集まったお年寄り約30人は、寿司やごちそうに舌鼓を打ち、「きれいだなあ」「行きたいね」と楽しそうに語らいながら見入っていた。

テーブルには現地で拾ったモミジも置かれ、手にとっしめじみと眺める参加者も。かつて六甲や箕面の山をよく訪れたという秋沢ヨシ子さん(91)は、今年はコロナで旅行できなかったが、「久々に山の風景を見て若返った気持ちになっ

た」と笑顔だった。

約30分の映像は、ハンディ社の春山哲朗社長(35)が監督となり、10月初旬から1か月以上かけて制作。八ヶ岳の標高1300メートル付近の風景などをドローンで撮影し、編集した。赤や黄色に美しく彩られた秋らしい山の風景に、木々の間を流れる川や温泉も交えて臨場感を出した。

動画投稿サイト「ユーチューブ」で無料公開しているが、費用はクラウドファンディングで調達。集まった約300万円の一部を資金に、シナリオライターを交えて構成を作るなどし、本格的な映像に仕上げた。

※

コロナ禍をきっかけに四季を届けようとの意味を込め、企画は「4SEASONS Delivery Project」と銘打った。第1弾は、奈良県の吉野山や大阪城公園などの桜の名所を撮影し、4月中旬に約1時間の映像を公開。

吉野の桜、八ヶ岳の紅葉…「表情明るくなった」好評

福祉施設で弁当を食べながら「お花見」をしてもらったところ好評だったため、7月には兵庫県多可町などで撮影したホテルや星空などの夏の映像(35分)も制作した。いずれも5000回以上視聴され、テレビでも取り上げられた。

現在は、来年2月公開予定の冬映像に向けて動き出している。ハワイや温泉の作品も構想しているといい、春山社長は「最後まで人生を謳歌してもらうためのエンターテインメントとなるよう作品を創造したい」と意気込む。

春から上映会を開いているプレジール豊中の施設長、山中健嗣さん(40)は「旅行は体調への負担から参加できない人もいます。コロナが終息しても、映像と旅行を組み合わせて利用者全員に満足してもらいたい」と期待する。

映像は、ユーチューブの「Good Time チャンネル」で視聴できる。



①春山社長(中央)が撮影した映像を、食事をしながら楽しむ高齢者(豊中市で) ②赤や黄色に美しく彩られた八ヶ岳の映像(「Good Time チャンネル」から)

